

世界で初めて小型指静脈認証装置をモバイルノートに搭載した
セキュリティ PC「FLORA Se210 指静脈認証装置内蔵モデル」を発売
ーモバイルノート型セキュリティ PC「FLORA Se210」のラインアップを強化ー



FLORA Se210 指静脈認証装置内蔵モデル

FLORA Se210

株式会社 日立製作所 ユビキタスプラットフォームグループ(グループ長&CEO：江幡 誠)は、このたび、指の静脈パターンを用いて個人認証を行う小型指静脈認証装置を、世界で初めて*モバイルノートに搭載した、モバイルノート型セキュリティ PC「FLORA Se210 指静脈認証装置内蔵モデル」を12月1日から発売します。また、従来モデルより通信機能や表示性能を高め、コストパフォーマンスを向上した同「FLORA Se210」新モデルもあわせて発売します。

なお、これらの製品は、日立製作所が提供し、情報漏えいに対して抜本的な対策を実現する「セキュアクライアントソリューション」を構成するシステム製品として提供します。

* 2005年11月28日現在 当社調べ

近年、モバイルノートの盗難や紛失による個人情報や機密情報が漏えいするケースが増加し、企業や自治体など個人情報を取り扱う機関をはじめ、社会的な情報セキュリティに対する関心が高まっています。そうした状況を背景に、特に第三者のなりすましによる不正アクセス防止への意識が強くなっており、その防止策として指紋や静脈などの個人を特定可能な生体情報を、個人認証の鍵として利用したいというニーズが増加してきています。

当社では、有力な生体技術として、1997年から、指に光を透過させて指の静脈パターンを観察する生体認証技術「指静脈認証技術」の開発を進めてきました。また、ATM や入退室管理など、幅広い製品への応用を実現しており、PC使用時のログイン装置についても、多くの実績を持っています。

一方、当社では、モバイルノートを通じた情報漏えいの抜本的な対策として、ハードディスクを持たないモバイルノート型セキュリティ PC「FLORA Se210」を開発し、第三者によるなりすましを防止する認証デバイス「KeyMobile」や「USB 接続指静脈認証装置」を組み合わせた「セキュアクライアントソリューション」を提供してきました。本ソリューションについては、様々な業種の企業や自治体などから高い関心が寄せられており、当社のセキュリティ事業の中核事業として、さらなる拡大を目指しています。

今回の新製品は、当社中央研究所が開発した「下方放射方式」の小型指静脈認証装置を、モバイルノート型セキュリティ PC へ搭載したものです。「FLORA Se210 指静脈認証装置内蔵モデル」では、小型指静脈認証装置を内蔵型とすることによって「第三者のなりすましを防止する高いセキュリティレベルと、手軽に持ち運べる高い携行性を同時に実現しています。これらにより、顧客の使用環境に応じた、より柔軟なシステム設計が可能となり、ユーザーの多彩なニーズに対応した「セキュアクライアントソリューション」を提供することができます。

なお、本製品は 11 月 29 日に東京プリンスホテルで開催される「iforum(アイフォーラム)2005 JAPAN」(主催：シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社)に出展します。

■新製品の価格・出荷時期

モデル名	形名	共通仕様	指静脈認証装置	希望小売価格	出荷時期
FLORA Se210	PC4SL6-X71110C10	インテル® Celeron® プロセッサ(600MHz)、256MB DDR2 SDRAM、12.1 型 XGA、HDD なし、IEEE802.11a/b/g 準拠 無線 LAN、1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T LAN、56Kbps モデム、Windows® XP Embedded、バッテリー(S)、外形寸法 275(W)×233(D)×30.7(H)、質量 約 1.27kg	—	168,000 円* (税抜 160,000 円)	12 月 1 日
FLORA Se210 指静脈認証装置内蔵モデル	PC4SL6-X72120C10		内蔵	194,250 円* (税抜 185,000 円)	

※本製品を動作させるには認証デバイス「KeyMobile」、ソフトウェアパッケージライセンス、接続先となる自席 PC/クライアントブレード/サーバ、および、ネットワーク接続するためのシステム構築等が別途必要となります。

■新製品の特徴

(1) 生体認証による強固なセキュリティ

生体認証技術の中でも認証スピードが高速で、偽造が困難といわれる「指の静脈パターン」を利用した日立独自の技術による「小型指静脈認証装置」を、モバイルノート型セキュリティ PC へ搭載し、第三者のなりすましを防止する強固なセキュリティを実現します。

また、認証用の静脈パターンのデータは認証デバイス「KeyMobile」内に格納するため、各人が「KeyMobile」を持っていれば、セキュリティ PC は持ち歩かずに、出張先でセキュリティ PC を借りて自分の PC 環境にアクセスしたり、セキュリティ PC を数人で共有することも可能です。

(2) 高い携行性と優れた操作性を実現

指静脈認証装置を本体に内蔵しながら、質量わずか約 1.27kg (バッテリーパック (S) 搭載時) で、手軽に持ち運べる高い携行性を実現します。また、本体内蔵のため、外出先でも本体起動と同時にすぐに使える優れた操作性を実現します。

(3) パスワード入力の簡素化

認証デバイス「KeyMobile」の本人認証の際に必要なパスワード(PIN コード)入力を、指静脈認証装置と組み合わせることで代替することができます。

■各社からのコメント (アルファベット順)

シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社 (<http://www.citrix.co.jp/>)

代表取締役社長 大古 俊輔 様

シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社は、日立製作所様の指静脈認証装置を内蔵したセキュリティ PC 「FLORA Se210 指静脈認証装置内蔵モデル」の発売を歓迎いたします。日立製作所様は、Citrix Presentation Server™の国内最大級のユーザーでもあり、自社システムにおいても積極的にセキュリティ PC を活用した情報漏えい防止に取り組まれています。また、Presentation Server と連携したセキュリティ PC の活用における多種多様なインテグレーション実績も豊富です。今回の「FLORA Se210 指静脈認証装置内蔵モデル」の発表は、固有情報であるバイオメトリクスを取り入れることで、更にセキュリティを強化し、Presentation Server と組み合わせることで強固な情報漏えい対策が実現できるものと確信しております。

マイクロソフト株式会社 (<http://www.microsoft.com/japan/>)
業務執行役員 エンベデッドソリューション営業本部 本部長
山崎 雄彦 様

マイクロソフト株式会社は、日立製作所様より発表された Windows® XP Embedded を採用した「FLORA Se210 指静脈認証装置内蔵モデル」のリリースを歓迎します。お客様の多様なニーズに合わせ、様々な分野にて Windows がその汎用性を理解され採用される事を喜ばしく思い、対応する製品が市場に受け入れられるものと期待します。

■添付別紙

- (1) 指静脈を利用した本人認証システム
- (2) 指静脈認証の製品展開
- (3) セキュリティ PC 「FLORA Se210」仕様

■他社所有商標に関する表示

- ・Microsoft、Windows、は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・インテル、Intel、Celeron は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

■情報提供サービス

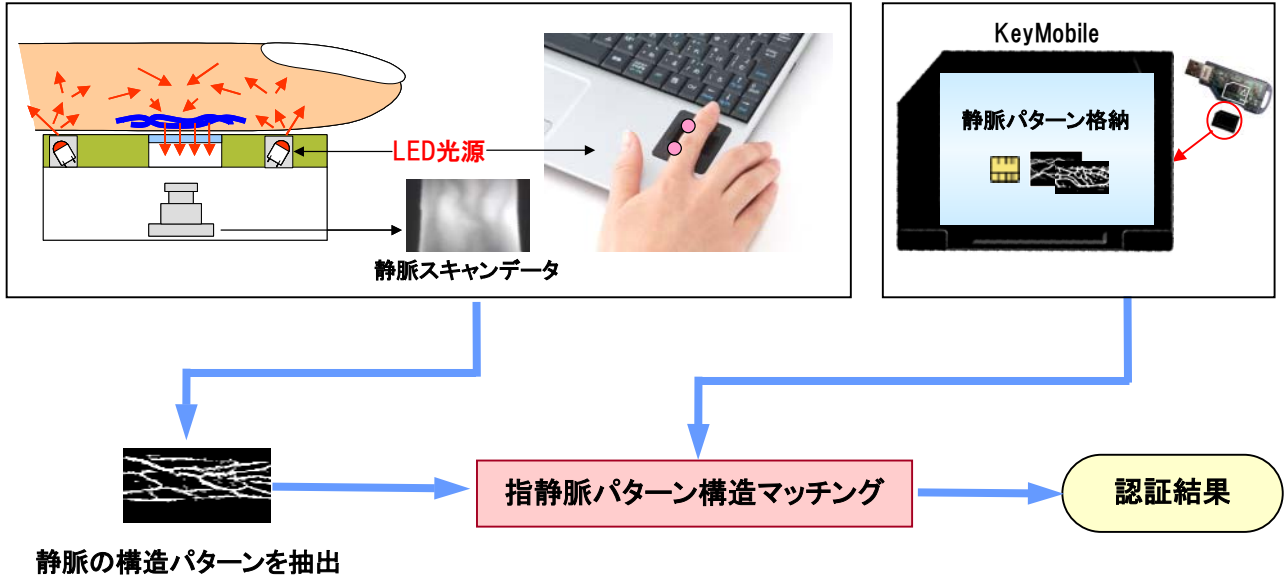
日立パソコン総合案内 <http://www.hitachi.co.jp/pc/>
セキュアクライアントソリューション <http://www.hitachi.co.jp/spc/>

以 上

(1) 指静脈を利用した本人認証システム

指の下方から光を照射し、内部散乱を利用して静脈を透過した光を観察

静脈パターンを KeyMobile に格納



(2) 指静脈認証装置の製品展開

高精度化技術(世界最高レベル)

入退管理('03年製品化)

- オペレータ認証
- 入室制限

'04年
国内トップ
シェア達成

高速・高セキュリティ技術(業界最速)

金融('05年製品化)

- ATM・窓口での顧客確認

'05年9月より
銀行で本格稼動

指静脈認証システム

利便性向上技術Ⅰ
(認証は指をかざすだけ)

PC('04年製品化)

- ログイン確認

'04年
国内トップ
シェア達成

小型化技術(世界最小)

携帯端末('05年製品化)

- ログイン確認

モバイルノートPC内蔵

利便性向上技術Ⅱ
(認証用の特別な操作不要)

入退管理(グリップ型)

- 自動車
- 玄関ドア

ドアハンドルと一体化

(3) セキュリティ PC 「FLORA Se210」仕様

形名 ^{*1}	3年無償保証	PC8SL6-X71110C□0	PC8SL6-X72120C□0
	1年無償保証	PC4SL6-X71110C□0	PC4SL6-X72120C□0
OS	Microsoft® Windows® XP Embedded		
CPU	インテル® Celeron® プロセッサ		
周波数	600MHz		
1次/2次キャッシュメモリー(CPU内蔵)	1次:64KB(命令用32KB+データ用32KB)/2次:なし		
システムバスクロック	400MHz		
チップセット	インテル® 915GM チップセット		
メインメモリー	256MB(固定)(DDR2 SDRAM、ビデオ RAM と共用)		
ディスプレイ	12.1型 TFT カラー		
表示解像度(表示色数)	1,024×768ドット(1,677万色)		
ビデオサブシステム	インテル® 915GM チップセットに内蔵		
	ビデオ RAM	最大 128MB(ダイナミック・ビデオ・メモリー・テクノロジーにより自動可変、メインメモリーと共用)	
ファイル装置	512MB フラッシュメモリー (セキュリティ確保のため書込不可)		
サウンド機能	High Definition Audio Codec、スピーカー内蔵		
拡張スロット	PCカード	Type II ×1 CardBus 対応 (セキュリティ確保のため使用制限あり)	
	メモリーカード	SD/MMC/メモリースティック×1(セキュリティ確保のため使用不可)	
インタフェースコネクタ	USB2.0×3 (セキュリティ確保のため使用制限あり)、 IEEE1394×1(セキュリティ確保のため使用不可)、 アナログ RGB ディスプレイ×1、マイク×1、ヘッドフォン×1		
通信機能	LAN	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 自動認識(RJ45)	
	無線 LAN	IEEE802.11a(J52/W52/W53 対応)/b/g 準拠 ^{*2}	
	モデム	データ最大 56Kbps (V.90) / FAX14.4Kbps(RJ11) ^{*3}	
指静脈認証装置/セキュリティチップ ^{*4}	セキュリティチップ TCG Ver1.1b 準拠	内蔵型指静脈認証装置、 セキュリティチップ TCG Ver1.1b 準拠	
キーボード/マウス	109A 配列準拠キーボード 87 キー(ピッチ 18mm、ストローク 2mm)/マウスなし		
ポインティングデバイス	シームレスタッチパッド		
外形寸法(W×D×H)	275×233×23~30.7mm(バッテリーパック(S)搭載時)		
	275×246.5×23~30.7mm(バッテリーパック(M)搭載時)		
	275×265×23~30.7mm(バッテリーパック(L)搭載時)		
質量	約 1.27kg(バッテリーパック(S)搭載時)		約 1.27kg(バッテリーパック(S)搭載時)
	約 1.42kg(バッテリーパック(M)搭載時)		約 1.41kg(バッテリーパック(M)搭載時)
	約 1.58kg(バッテリーパック(L)搭載時)		約 1.57kg(バッテリーパック(L)搭載時)
消費電力(最大/スタンバイ時)	約 19W(58W/約 1.9W)		約 20W(58W/約 1.9W)
バッテリー使用可能時間 (JEITA 測定法 1.0)	約 2.5 時間(バッテリーパック(S)搭載時)		約 2.1 時間(バッテリーパック(S)搭載時)
	約 5.1 時間(バッテリーパック(M)搭載時)		約 4.5 時間(バッテリーパック(M)搭載時)
	約 8.3 時間(バッテリーパック(L)搭載時)		約 6.7 時間(バッテリーパック(L)搭載時)
VCCI基準 ^{*5}	VCCI クラス B		

*1 形名の□の中には次の文字が入ります。

1:マウスなし+バッテリー(S) 2:マウスなし+バッテリー(M) 3:マウスなし+バッテリー(L) A:USBマウス+バッテリー(S) B:USBマウス+バッテリー(M)
C:USBマウス+バッテリー(L) D:Opticalマウス+バッテリー(S) E:Opticalマウス+バッテリー(M) F:Opticalマウス+バッテリー(L)

*2 内蔵無線 LAN は日本国内の電波法に基づいて設計しています。海外での使用はできません(海外で使用すると罰せられる可能性があります。) IEEE802.11a の規格による通信は電波法により屋外での使用が禁じられています。(屋内のみ使用可能です。) また、内蔵無線 LAN のアドホック通信接続はサポートしていません。内蔵無線 LAN は 128(104)bit/64(40)bit 暗号化機能をサポートしています。内蔵無線 LAN の使用できるチャンネルは、IEEE802.11a 接続時は 34/36/38/40/42/44/46/48/52/56/60/64 チャンネル、IEEE802.11b および IEEE.802.11g 接続時は 1~13 チャンネルとなります。IEEE802.11a 規格には異なるチャンネル製品が存在します。接続する機器の対応規格をご確認の上、ご使用ください。

*3 最大通信速度は、規格理論上の数値です。実際の通信速度は、使用環境により異なります。

*4 ごくまれに指静脈パターンを登録・照合できない場合があります。直射日光は避けてご使用ください。また、セキュリティチップの機能を利用するためには、ソフトウェアのカスタマイズが必要です。

*5 情報処理装置等電波障害自主規制協議会基準

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
